

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社 劇団かかし座
公演団体名	有限会社 劇団かかし座

内容
<p>【導入 影絵の体験学習】</p> <p>○光源に対する角度によって影の形が変わったり、光源からの距離によって影が大きくなったり小さくなったりすることを実践しつつ紹介することで、影の性質や影絵で表現する面白さを伝えます。</p> <p>【E 全員参加シーン】 ～踊りの練習～</p> <p>○『エンディング曲』(Dr.Shadow の歌)の踊りを練習し、公演作品に対する期待と参加への意欲を持たせます。</p> <p>★A～D チーム以外の児童も参加可能(希望があれば全校児童でも参加可能とする)</p> <p>※以下チームに分かれてのワークショップ</p> <p>.....</p> <p>【A「玉人形」チーム】 ～玉人形の製作とショーの構成～</p> <p>○上演児童は中～高学年10名程度。(4年生以上が望ましい。)</p> <p>○身近な素材(スポンジボール)で影絵人形を作り、影絵ごっこができることを学び、劇団員の指導の下、自分オリジナルの玉人形を作ります。そして玉人形の動かし方を習い、ショーの構成(演技)を音楽に合わせて考えます。</p> <p>○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。</p> <p>【B Hand Shadow Show(手影絵ショー)チーム】 ～手影絵の学習とショーの構成～</p> <p>○上演児童は高学年 10 名程度。(5 年生以上が望ましい。)</p> <p>○代表的な手影絵数種類を学んだ後、その組み合わせによる音楽にのせた楽しいショーを製作し、練習します。</p> <p>○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。</p> <p>【C 台詞&歌&ダンス(シェト応援隊)チーム】 ～演技・ダンスの練習～</p> <p>○共演児童は低～高学年10名程度。</p> <p>○影絵劇「シェトの冒険」の中で、シェトを応援する仲間として、台詞とダンスを習い、練習します。</p> <p>○公演当日は午前中に簡単な確認のリハーサルを行ない、午後の公演では台詞で共演します。</p>

【D 妖精チーム】 ～演技・ダンスの練習～

- 共演児童は高学年の女子 10 名程度。
- 影絵劇「シエトの冒険」の登場人物である妖精の、台詞と踊りを習い練習します。
- 公演当日は午前中にリハーサルを行ない、午後の公演で共演します。

※それぞれの参加人数や内容については、学校のご希望に合わせて検討、調整します。
B は参加人数増が可能です。

- ・各学校の希望・要望によって、短縮・縮小(例えば A・B のみ参加で、C・D・E は WS 実施無し、本公演時そのシーンは鑑賞のみ)を臨機応変に対応します(令和 2 年度もそのように対応しました)
- ・多くの学校からの要望、専門家の意見を取り入れ、子供達が歌うシーンは全て削除。

タイムスケジュール (標準)

- (例)
- 8:30:機材搬入、機材設置、打合せ
 - 9:30:WS 参加児童集合
 - 9:40:WS 開始 共演児童は各チームに別れて練習
 - 11:00:共演児童全チーム集合、発表と全体練習
 - 11:30:WS 終了 撤収開始 本番公演の打合せ
 - 12:30:退館

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

主指導者 1 名、補助者 4 名 合計 5 名

学校における事前指導

事前に台本・CD 音源を送付しますので、参加者がそれらを事前に確認しておくことで WS がよりスムーズになります。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社 劇団かかし座
公演団体名	有限会社 劇団かかし座

演目
「Wonder Shadow Labo」 (ワンダー シャドウ ラボ) 脚本・構成・演出/後藤圭、「シェトの冒険」台本/若林一郎、 児童参加プラン/太宰久夫・後藤圭、舞台美術/齊藤浩樹 音楽/石川洋光、衣裳/中矢恵子、共演児童衣装・小林巨和、 振付/楠原竜也、児童参加部分の振付/神崎由布子 音響/山北史郎(山北舞台音響)、照明/坂本義美(龍前舞台照明研究所)、 影絵美術監修/後藤圭、 影絵美術/劇団かかし座美術部、小田純治、小島直子、とうたいよう

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者 4名 スタッフ (音響・照明・サポート) 5名 合計 9名

タイムスケジュール (標準)
(例) 7:30 学校到着 7:30～10:30 仕込み (9:30 打合わせ) 10:30～11:45 リハーサル 11:45～12:45 昼休憩 12:45～13:30 公演準備 13:30～15:00 本公演 (休憩 10分) 15:00～15:20 事後交流(希望の場合) 15:20～17:00 撤去。 17:30 学校退出

実施校への協力依頼人員
共演時に先生の補助が必要な場合を除き、原則ありません。

演目解説

『Wonder Shadow Labo』は、平成27年度文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業」で文化ホール上演作品として制作・上演した『Wonder Shadow』を、学校でも上演可能な作品として改編したものです。影絵表現の仕組みと面白さ、不思議さを影絵実験ショーとして上演します。

実験室を模した舞台セットの中、俳優たちは日々影絵の研究に取り組む博士と研究員 (Dr. シャドウ) に扮し、作品は進行していきます。Part1～3の3部構成となっており、Part1,2では Dr. シャドウたちが身近な素材や自分の身体で様々な影絵表現ができることを実験を通して提示し、Part3では Dr. シャドウたちがそれらの影絵表現を用いてお話を上演する劇中劇になっています。特にPart3の「シェットの冒険」は美しい影絵と数々の音楽・歌が合わさり、かかし座オリジナルのミュージカル仕立ての楽しい演劇作品になっています。

【Part1】 Dr. シャドウの影絵ラボ 30分

ちょっと頼りない博士とDr. シャドウたちが、秘密の実験室で繰り広げる楽しい影絵実験ショー。ボールやハンカチ、積み木から不思議な影が次から次へ現れる! 皆がやってみたくなるワクワクドキドキの実験ショーです。

【Part2】 Hand Shadow Show 上演 15 分

手と体だけでいろいろな動物の影を紡ぎ出してみせる、劇団かかし座得意の「Hand Shadow Show」。世界中のフェスティバルや TV 番組でも大人気のパフォーマンスです。かかし座と合わせ、事前ワークショップで指導した児童による上演も行います。

【休憩 10 分】

【Part3】 影絵劇「シェットの冒険」上演 35 分

お話を作った博士は、Part1,2 の手法を用いて Dr. シャドウたちとお話ごっこを始めます。

[あらすじ] 遠い遠いどこかの国で、雨が降らずに困っている村があった。そこには何とかして村人の役に立とうとする勇気のある少年がいた。名前はシェット。シェットは村の古くからの言い伝えを信じ、雨を降らせるドラゴンを探す旅に出る。途中、小人や妖精を助けたシェットは、彼らから様々な助けを得る。しかしその旅は困難の連続で...

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

A. 玉人形ショーの上演 (中～高学年4～10人程度 ※偶数が望ましい)

事前ワークショップで製作し構成を考えた玉人形によるショーを、音楽にのせて上演します。当日リハーサルあり。

B. Hand Shadow Show上演(Part2) (高学年10人程度)

事前ワークショップで学び取り組んだ手影絵によるショーを上演します。 当日リハーサル有り。

C. 台詞(シェト応援隊)での共演(Part3) (中～高学年10人程度)

事前ワークショップで学んだ台詞を俳優と共に語ります。 当日簡単なリハーサル有り。

D. 妖精たち(台詞と踊り)による共演 (高学年女子4～10人)

事前ワークショップで練習した台詞と踊りで参加します。妖精の衣装を身につけます。
当日リハーサルあり。

E. エンディングでの全員参加(Part3)

『エンディング曲』(Dr. Shadow の歌) の歌と踊りを全員で踊ります。
当日のリハーサルは無し

※A～Eの各チームに参加分けすることにより、相当数の児童の参加が見込まれます。

またFで全児童の芝居の参加体験が可能となります。

※結果、観客児童と俳優とによる参加型お芝居が成立し、芝居に参加した達成感と充実感を共有できます。

※学校の状況に合わせ、参加する学年や人数について相談に応じます。A～Eの一部を実施することも可能です。

児童生徒とのふれあい

終演後、希望がある場合は、舞台裏見学や記念撮影を行いながら、子どもたちから感想を伺い交流を深めます。